

# 社会貢献預金（笑顔プラス）

社会貢献預金（笑顔プラス）は、預金者の寄付負担（金利引下げ分の利息相当額）と近畿ろうきんからの拠出金の合計額を毎年度、NPO・市民団体に寄付を行う定期預金です。

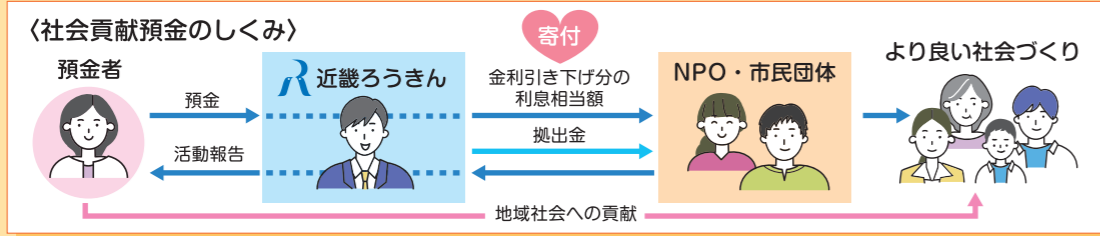
2025年度の寄付金は総額16,199,974円となり、近畿ろうきんから12団体に寄付を行いました。

## ◆2025年度の寄付金額

残高：142億38百万円  
 (2026年3月31日現在)

預金者からの寄付負担：13,699,974円  
 当金庫からの拠出金：2,500,000円

寄付金額：地区別団体 1,227,498円 (1団体あたりの寄付金)  
 近畿共通団体 1,962,497円 (1団体あたりの寄付金)



## 滋賀地区

〈国際協力・環境保全〉

### 公益財団法人 国際湖沼環境委員会

2025年7月に第20回世界湖沼会議（豪州ブリスベン）において、湖沼環境保全の次世代リーダー育成を目的としたユースセッションを開催し、世界の若者に対して国際会議での発表・交流の機会を提供。滋賀県からは、琵琶湖流域で活動に取り組む10名の小中学生が参加しました。



## 奈良地区

〈環境保全〉

### 春日山原始林を未来へつなぐ会

春日山原始林天然記念物指定100周年記念イベントや、春日山原始林アートプロジェクト2025の開催を通じて、春日山原始林の価値や課題について幅広い世代へ啓発することができました。また、原始林内の清掃など保全活動にも活用させていただきました。



## 京都地区

〈地域づくり・防災〉

### NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

2025年度は防災分野でも、地域で暮らすすべての人が共に助け合い、新たな価値を創り出す活動を実施しました。また、物価高に苦しむ外国籍やひとり親世帯への食料・生活支援に加え、新拠点で多文化・多世代が支え合う「共生・共創社会」の推進事業を開始しました。



## 京都地区

〈子ども支援・貧困対策〉

### NPO法人 山科醍醐こどものひろば

京都市山科区と伏見区醍醐地域に住む、家庭的に困難さを抱える子どもに対して、食事・学習・余暇支援及び食材配布を実施。不登校、虐待、育児放棄など課題を抱えている子どもたちのために、年齢の近い学生ボランティアが信頼関係をつくり、安心・安全な居場所をつくりました。



## 和歌山地区

〈地域づくり・防災〉

### 認定NPO法人 わかやまNPOセンター

2025年度は「ぐらっと来たら自宅の食器棚は大丈夫？～日頃の整理収納と補強が命を守ります～」をテーマとした防災講演会を開催。整理収納から考えるおうち防災のススメとして、整理収納アドバイザーからいざという時の備えの大切さと、最新の家庭防災グッズ情報を共有しました。



## 大阪地区

NPO法人 ここ

〈子ども支援・不登校対策〉

家庭環境を理由にフリースクールに通ったり、行事に参加できない家庭への金銭的な補助として活用させていただきました。2025年度も補助を受けた生徒たちが志望した高校への進学や復学を果たすことができました。ありがとうございました。



## 大阪地区

認定NPO法人 いくの学園

〈女性・マイノリティ支援〉

「現場で生かす女性支援法とトラウマインフォームドケア」という無料動画配信セミナーに活用しました。このセミナーは女性支援だけでなく、子ども、ひとり親、障がい、生活困窮、教育、医療、精神保健、高齢、LGBT、外国人等、多くの分野の支援者から申込みがありました。



## 大阪地区

NPO法人 日常生活支援ネットワーク

〈障がい者生活支援〉

関西の障がい当事者と支援団体が参加し、全国の被災障がい者救援活動と結びつき、災害と地域福祉へ促す「童夢KANSAIフェスティバル」、子ども・若者支援、外国ルーツの市民、障がい者児や家族が集い、食事をつくりふるまう「みんなの会」の開催などに使わせて頂きました。



## 兵庫地区

〈災害・病気・自死等の遺児支援〉

### 一般財団法人 あしなが育英会

阪神・淡路大震災を機に神戸レインボーハウスから始まった心のケア活動は、2026年3月には東日本大震災から15年の節目を迎えました。寄付金はグリーンサポートプログラム開催費等に大切に活用いたしました。



## 兵庫地区

〈国際協力・被災地支援〉

### NPO法人 CODE海外災害援助市民センター

2022年2月に発生したウクライナ戦争による避難民を支援する「MOTTAINAI野菜便」の活動、避難民の方の引っ越し、次世代のNGOを担うCODE未来基金の学生たちの活動（在住外国人を知るフィールドワーク、能登半島地震ボランティア、イベント参加などの交通費）等に活用させていただきました。



## 京都地区

〈地域づくり・防災〉

### NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

2025年度は防災分野でも、地域で暮らすすべての人が共に助け合い、新たな価値を創り出す活動を実施しました。また、物価高に苦しむ外国籍やひとり親世帯への食料・生活支援に加え、新拠点で多文化・多世代が支え合う「共生・共創社会」の推進事業を開始しました。



## 京都地区

〈子ども支援・貧困対策〉

### NPO法人 山科醍醐こどものひろば

京都市山科区と伏見区醍醐地域に住む、家庭的に困難さを抱える子どもに対して、食事・学習・余暇支援及び食材配布を実施。不登校、虐待、育児放棄など課題を抱えている子どもたちのために、年齢の近い学生ボランティアが信頼関係をつくり、安心・安全な居場所をつくりました。



## 和歌山地区

〈地域づくり・防災〉

### 認定NPO法人 わかやまNPOセンター

2025年度は「ぐらっと来たら自宅の食器棚は大丈夫？～日頃の整理収納と補強が命を守ります～」をテーマとした防災講演会を開催。整理収納から考えるおうち防災のススメとして、整理収納アドバイザーからいざという時の備えの大切さと、最新の家庭防災グッズ情報を共有しました。



## 寄付先団体等との連携した取組み

## ＜笑顔プラスプロジェクト＞

### NPO法人 CODE海外災害援助市民センター / NPO法人 関西NGO協議会

「ウクライナ戦争から4年～ウクライナの今を聴く～」をテーマに開催しました。長期化する戦争はウクライナの人々の生活を大きく変え、世界各地に深刻な影響を与えています。本セミナーではウクライナの最新状況、ウクライナの人々や避難民支援の現状を共有し、市民としてできることを考えました。



### 公益財団法人 国際湖沼環境委員会

7月にオーストラリア・ブリスベンで開かれた世界湖沼会議の報告や会議の様子を交えて、水辺を守る大切さを考えることを目的に、「認定NPO法人びわこ豊稔の郷」と連携し「地域から世界へ！つなげるエコ活」をテーマに開催しました。また、目田川でのクリーン活動も実施しました。

